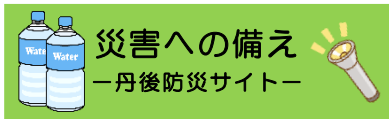


～毎月1日は、防災について考える日～

災害対策NEWS

No.6



災害への備え
一丹後防災サイトー

京都府丹後保健所
HPバナー

編集/発行 (京都府丹後保健所)
災害対策ワーキングチーム

<事務局>

京都府丹後保健所(丹後広域振興局健康福祉部)
〒627-8570 京都府京丹後市峰山町丹波855
TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368

新たな防災気象情報

令和8年5月29日から気象庁の「防災気象情報」が大きく変わりました。「河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮等」の情報が、自治体発表の「避難情報の5段階の警戒レベル」に対応し、避難の判断がしやすくなりました。

なお、「河川氾濫」の情報は、1級河川などの大きな河川に限るため、低地の浸水や大河川以外の氾濫は、「大雨」の情報で発表されます。

避難にあたっては、指定避難場所にこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断で最善の安全確保行動をとることが重要とされています。

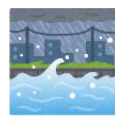


防災気象情報が変わりました

気象庁

令和8年5月29日～

新しい
防災気象情報
と警戒レベル



河川
氾濫



大雨



土砂災害



高潮

警戒レベル

5相当

「特別警戒」

- すでに命の危険が迫っている状況
- 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する

レベル5
氾濫特別警戒

レベル5
大雨特別警戒

レベル5
土砂災害特別警戒

レベル5
高潮特別警戒

警戒レベル

4相当

「危険警戒」

- 危険な場所から**全員避難!**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

レベル4
氾濫危険警戒

レベル4
大雨危険警戒

レベル4
土砂災害危険警戒

レベル4
高潮危険警戒

警戒レベル

3相当

「警戒」

- 必要に応じて避難の準備や自主避難
- 高齢者など避難に時間がかかる人は避難

レベル3
氾濫警戒

レベル3
大雨警戒

レベル3
土砂災害警戒

レベル3
高潮警戒

レベル4やレベル3の発表があれば、**キキクル**(気象庁)の水位情報等を確認!



警戒レベル

2

「注意報」

- ハザードマップなどで今いる場所の災害リスクを再確認
- 自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認

レベル2
氾濫注意報

レベル2
大雨注意報

レベル2
土砂災害注意報

レベル2
高潮注意報

警戒レベル

1

「早期注意情報」

- 災害への心構えを一段階高める
- 学校や事業者などでは職員の連絡体制を確認

レベル1
早期注意情報

非常持出袋



出典: 気象庁 HP
きょうと府民だより
(2026年6月号)

【気象防災速報】

顕著な現象を速報的に伝える情報で、気象庁が府県ごとに発表します。

「気象防災速報(線状降水帯発生)」「気象防災速報(記録的短時間大雨)」などの発表があれば、すぐに最新の防災情報を確認してください。

— 「警戒レベル4」で 全員避難! —

災害関連事業(令和8年3月～令和8年7月)抜粋

開催日	R8.5.20
事業名	健康福祉部災害時初動訓練
内容	調整本部・地域本部の立ち上げ各種システムの入力・確認
参加者数	120名程度
対象者	京都府健康福祉部職員

いつもの備えがもしもの安心に

災害が発生すると、物流の停滞やライフラインの停止により、食品の入手が困難になることがあります。そのため、最低3日分、できれば1週間分の食品の備蓄が望ましいと言われています。

◆ローリングストックのすすめ◆

ローリングストックとは、普段食べている食品を少し多めに購入し、食べた分を買い足しながら備蓄する方法です。特別な非常食だけを保管する備蓄よりも、無理なく続けられます。

レトルト食品、缶詰、野菜ジュースなどを組み合わせると、栄養バランスを保ちやすくなります。

上手に続ける3つのコツ

- ① 普段食べるものを少し多めに買う
- ② 賞味期限の古いものから使う
- ③ 使った分を必ず補充する



【災害用語紹介】

DPAT とは…

自然災害や航空機・列車事故等の集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチームです。

精神科医師、看護師、業務調整員で構成され、精神保健医療の専門的支援、支援者（医療従事者、自治体職員等）への専門的支援等を行います。

出典：DPAT事務局



災害時のペット避難

飼い主がいま、やるべきことは？

- 住宅の災害対策や、フード、トイレシートなど避難セットの準備を！
- ワクチン接種や寄生虫の駆除など、健康面のチェックを！
- 最低限のしつけや、ケージに慣らす訓練、マイクロチップなどによる所有明示を！
- ペットの受入れ対応を含め、事前に避難場所の確認を！



災害時、あなたとあなたの大事なペットを守るために、いま、できることを考えましょう

もし被災してしまったら？

- 災害時にはペットを落ち着かせ、迷子にさせないように注意して、ペットとともに同行避難を！

- 自治体の避難指示等には従う必要があります。
- ペットが理由で避難しないことは、自分の安全を脅かすことにつながります。ペットと一緒に同行避難しましょう。



詳しくは、「災害、あなたとペットは大丈夫？」人とペットの災害対策ガイドライン〈一般飼い主編〉をご覧ください。



令和2年8月作成



備えて安心 防災日記

昨年度から災害対策ワーキングチームのリーダーになりました保健所の井上です。

少し前の話ですが、昨年3月、大阪で研修を受け、防災士の資格を取りました。200名程の受講者が2日間、朝9時から夕方6時頃まで充実した講義や実技で学びました。

その中で、特に興味深かったのが個人ワークの図上演習です。あるまちの地形図に自分の家をマークし、鉄道、海、川、避難場所（学校、公園）などを書き込み、次に災害時要配慮者宅を書き込みます。次に防災拠点となる消防署、警察署、病院、市役所などの位置を確認したあと、津波、洪水、

土砂災害などの被害予測を確認します。このように災害リスクを「見える化」することで対策を考えやすくなります。職場や地域でも、同様の図上演習などが行えればと思いました。

災害対策の視点は「自助・共助・公助」の3つです。「自助」個人、我家でできること、「共助」職場や地域の人と協力してできること、「公助」行政と連携してできること。

災害対策ワーキングチームの取組も、3つの連携を円滑にし、災害の被害を軽減できるものと考えています。

